

1

次の和 S を求めよ。

$$S = 1 \cdot 1 + 3 \cdot 2 + 5 \cdot 2^2 + 7 \cdot 2^3 + \cdots + (2n-1) \cdot 2^{n-1}$$

2

次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。また、 $\{a_n\}$ の極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。

$$a_1 = \frac{1}{2}, \quad a_{n+1} = \frac{a_n}{2 + a_n} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

3

次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。また、極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。

$$a_1 = 0, \quad a_2 = 1, \quad 3a_{n+2} = a_{n+1} + 2a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

4

$a_1 = \frac{1}{2}$, $(n+1)a_n = (n-1)a_{n-1}$ ($n \geq 2$) によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

5

1 から 7 までの数を 1 つずつ書いた 7 個の玉が、袋の中に入っている。袋から玉を 1 個取り出し、書かれている数を記録して袋に戻す。この試行を n 回繰り返して得られる n 個の数の和が 4 の倍数となる確率を p_n とする。ただし、 n は正の整数とする。

- (1) p_1 と p_2 を求めよ。
- (2) p_{n+1} を p_n の式で表せ。
- (3) p_n を求めよ。

6

$a_1 = 3$, $(n+1)a_{n+1} = a_n^2 - 1$ によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を推測して、それが正しいことを数学的帰納法によって証明せよ。

7

数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ を $a_1 = b_1 = 1$, $a_{n+1} = a_n + 4b_n$, $b_{n+1} = a_n + b_n$ で定めるとき

- (1) $a_{n+1} + xb_{n+1} = y(a_n + xb_n)$ を満たす x, y の組を 2 組求めよ。
- (2) 数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。

8

1 辺の長さ 3 の正三角形 ABC の辺 AB 上の 1 点を P_1 とし、 $AP_1 = 2$ とする。 P_1 から辺 BC へ垂線 P_1Q_1 を下ろし、 Q_1 から辺 CA へ垂線 Q_1R_1 を下ろし、 R_1 から辺 AB へ垂線 R_1P_2 を下ろす。 P_2 から更に同じ操作を繰り返して $Q_2, R_2, P_3, Q_3, R_3, \dots$ とする。線分 AP_n の長さを求めよ。

9

$a_1 = 1$, $a_{n+1} = \frac{a_n - 9}{a_n - 5}$ で定められる数列 $\{a_n\}$ がある。

- (1) すべての自然数 n に対して $a_n \neq 3$ であることを示せ。
- (2) $b_n = \frac{1}{a_n - 3}$ とおくと、 b_{n+1} を b_n で表せ。また、一般項 a_n を求めよ。

10

次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1 = 9$, $a_{n+1} = 6a_n - 3^{n+1}$
- (2) $a_1 = 2$, $na_{n+1} = (n+1)a_n + 1$
- (3) $a_1 = 1$, $a_{n+1} = 3a_n + 4n$

11

$a_1=1$, $a_{n+1}=2a_n^2$ で定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

12

数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和 S_n が $S_n = n - 2a_n$ で表されるとき, a_n を n の式で表せ。

13

n は自然数とする。2数 x , y の和と積が整数ならば, $x^n + y^n$ は整数であることを証明せよ。

14

n が自然数のとき, 2^n と n^2+1 の大小を比較せよ。

1

解答 $(2n-3) \cdot 2^n + 3$

2

解答 $a_n = \frac{1}{3 \cdot 2^{n-1} - 1}$, 極限は 0

3

解答 $a_n = \frac{3}{5} \left\{ 1 - \left(-\frac{2}{3} \right)^{n-1} \right\}$, $\frac{3}{5}$

4

解答 $a_n = \frac{1}{n(n+1)}$

5

解答 (1) $p_1 = \frac{1}{7}$, $p_2 = \frac{13}{49}$ (2) $p_{n+1} = -\frac{1}{7}p_n + \frac{2}{7}$ (3) $p_n = \frac{3}{4} \left(-\frac{1}{7} \right)^n + \frac{1}{4}$

6

解答 $a_n = n + 2$, 証明は略

7

解答 (1) $(x, y) = (2, 3), (-2, -1)$ (2) $a_n = \frac{3^n + (-1)^n}{2}$, $b_n = \frac{3^n - (-1)^n}{4}$

8

解答 $AP_n = \left(-\frac{1}{8} \right)^{n-1} + 1$

9

解答 (1) 略 (2) $b_{n+1} = b_n - \frac{1}{2}$, $a_n = 3 - \frac{2}{n}$

10

解答 (1) $a_n = 6^n + 3^n$ (2) $a_n = 3n - 1$ (3) $a_n = 4 \cdot 3^{n-1} - 2n - 1$

11

解答 $a_n = 2^{2^{n-1}-1}$

12

解答 $a_n = -\left(\frac{2}{3} \right)^n + 1$

13

解答 略

14

解答 $n=1$ のとき $2^n = n^2 + 1$
 $n=2, 3, 4$ のとき $2^n < n^2 + 1$
 $n \geq 5$ のとき $2^n > n^2 + 1$

1

$$S = 1 \cdot 1 + 3 \cdot 2 + 5 \cdot 2^2 + 7 \cdot 2^3 + \dots + (2n-1) \cdot 2^{n-1}$$

この等式の両辺に 2 を掛けると

$$2S = 1 \cdot 2 + 3 \cdot 2^2 + 5 \cdot 2^3 + \dots + (2n-3) \cdot 2^{n-1} + (2n-1) \cdot 2^n$$

辺々引くと $-S = 1 + 2(2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^{n-1}) - (2n-1) \cdot 2^n$

よって $-S = 1 + 2 \cdot \frac{2(2^{n-1}-1)}{2-1} - (2n-1) \cdot 2^n$
 $= -(2n-3) \cdot 2^n - 3$

したがって $S = (2n-3) \cdot 2^n + 3$

2

$a_1 > 0$ であるから $a_2 = \frac{a_1}{2+a_1} > 0$

同様にして $a_3 > 0, a_4 > 0, \dots, a_n > 0$

したがって $a_n \neq 0$

与えられた漸化式の両辺の逆数をとると $\frac{1}{a_{n+1}} = \frac{2+a_n}{a_n}$

すなわち $\frac{1}{a_{n+1}} = 2 \cdot \frac{1}{a_n} + 1$

$b_n = \frac{1}{a_n}$ とおくと $b_{n+1} = 2b_n + 1$

よって $b_{n+1} + 1 = 2(b_n + 1)$

また $b_1 + 1 = \frac{1}{a_1} + 1 = 2 + 1 = 3$

ゆえに、数列 $\{b_n + 1\}$ は、初項 3、公比 2 の等比数列で $b_n + 1 = 3 \cdot 2^{n-1}$

よって $b_n = 3 \cdot 2^{n-1} - 1$

ゆえに $a_n = \frac{1}{b_n} = \frac{1}{3 \cdot 2^{n-1} - 1}$

したがって $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$

3

与えられた漸化式を変形すると $a_{n+2} - a_{n+1} = -\frac{2}{3}(a_{n+1} - a_n)$

したがって、数列 $\{a_{n+1} - a_n\}$ は初項 $a_2 - a_1 = 1$ 、公比 $-\frac{2}{3}$ の等比数列である。

よって $a_{n+1} - a_n = \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1} \dots\dots \textcircled{1}$

また $a_{n+2} + \frac{2}{3}a_{n+1} = a_{n+1} + \frac{2}{3}a_n$

ゆえに $a_{n+1} + \frac{2}{3}a_n = a_2 + \frac{2}{3}a_1 = 1 \dots\dots \textcircled{2}$

①, ② より $\frac{5}{3}a_n = 1 - \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1}$

したがって $a_n = \frac{3}{5} \left\{ 1 - \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1} \right\}$

ゆえに $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{3}{5}(1 - 0) = \frac{3}{5}$

別解 与えられた漸化式を変形すると $a_{n+2} - a_{n+1} = -\frac{2}{3}(a_{n+1} - a_n)$

$\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とおくと $b_1 = a_2 - a_1 = 1, b_{n+1} = -\frac{2}{3}b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は、初項 1、公比 $-\frac{2}{3}$ の等比数列で $b_n = \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1}$

ゆえに、 $n \geq 2$ のとき $a_n = 0 + \sum_{k=1}^{n-1} \left(-\frac{2}{3}\right)^{k-1} = \frac{1 - \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1}}{1 - \left(-\frac{2}{3}\right)} = \frac{3}{5} \left\{ 1 - \left(-\frac{2}{3}\right)^{n-1} \right\}$

したがって $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{3}{5}$

4

[解答 1] 漸化式を変形して $a_n = \frac{n-1}{n+1}a_{n-1} \ (n \geq 2)$

ゆえに $a_n = \frac{n-1}{n+1} \cdot \frac{n-2}{n} a_{n-2} \ (n \geq 3)$

これを繰り返して $a_n = \frac{n-1}{n+1} \cdot \frac{n-2}{n} \cdot \frac{n-3}{n-1} \cdot \dots \cdot \frac{3}{5} \cdot \frac{2}{4} \cdot \frac{1}{3} a_1$

よって $a_n = \frac{2 \cdot 1}{(n+1)n} \cdot \frac{1}{2}$ すなわち $a_n = \frac{1}{n(n+1)} \dots\dots \textcircled{1}$

$n=1$ のとき $\frac{1}{1 \cdot (1+1)} = \frac{1}{2}$

$a_1 = \frac{1}{2}$ であるから、① は $n=1$ のときも成り立つ。

[解答 2] 漸化式の両辺に n を掛けると $(n+1)na_n = n(n-1)a_{n-1} \ (n \geq 2)$

よって $(n+1)na_n = n(n-1)a_{n-1} = \dots = 2 \cdot 1 \cdot a_1 = 1$

したがって $a_n = \frac{1}{n(n+1)} \dots\dots \textcircled{1}$

$n=1$ のとき $\frac{1}{1 \cdot (1+1)} = \frac{1}{2}$

$a_1 = \frac{1}{2}$ であるから、① は $n=1$ のときも成り立つ。

5

(1) $p_1 = \frac{1}{7}$

2個の数の和が4の倍数のとき、2個の数の組合せは(1, 3), (1, 7), (2, 2), (2, 6),

(3, 5), (4, 4), (5, 7), (6, 6)であるから $p_2 = \frac{3+5 \times 2}{7^2} = \frac{13}{49}$

(2) 試行を $(n+1)$ 回繰り返して得られる $(n+1)$ 個の数の和が4の倍数となるのは、

[1] n 回目までの試行で得られた n 個の数の和が4の倍数で、 $(n+1)$ 回目の試行で4の玉を取り出す

[2] n 回目までの試行で得られた n 個の数の和が4の倍数ではなく、 $(n+1)$ 回目までに得られた $(n+1)$ 個の和が4の倍数となる

のいずれかであり、[1], [2] は互いに排反である。

[2] の場合について、 $(n+1)$ 回目の試行で取り出される玉について考える。

n 個の数の和を4で割った余りが1のとき、 $(n+1)$ 回目の試行で取り出されるのは3または7の玉、 n 個の数の和を4で割った余りが2のとき、 $(n+1)$ 回目の試行で取り出されるのは2または6の玉、 n 個の数の和を4で割った余りが3のとき、 $(n+1)$ 回目の試行で取り出されるのは1または5の玉である。

よって
$$p_{n+1} = p_n \cdot \frac{1}{7} + (1 - p_n) \cdot \frac{2}{7}$$

$$= -\frac{1}{7} p_n + \frac{2}{7}$$

(3) (2) から $p_{n+1} - \frac{1}{4} = -\frac{1}{7} \left(p_n - \frac{1}{4} \right)$

(1) から $p_1 - \frac{1}{4} = -\frac{3}{28}$

数列 $\left\{ p_n - \frac{1}{4} \right\}$ は初項 $-\frac{3}{28}$ 、公比 $-\frac{1}{7}$ の等比数列であるから

$$p_n - \frac{1}{4} = -\frac{3}{28} \cdot \left(-\frac{1}{7} \right)^{n-1}$$

ゆえに $p_n = \frac{3}{4} \left(-\frac{1}{7} \right)^n + \frac{1}{4}$

6

$(n+1)a_{n+1} = a_n^2 - 1$ から $a_{n+1} = \frac{a_n^2 - 1}{n+1}$

$a_1 = 3$ から $a_2 = \frac{3^2 - 1}{1+1} = 4$, $a_3 = \frac{4^2 - 1}{2+1} = 5$, $a_4 = \frac{5^2 - 1}{3+1} = 6$, ……

よって、 $a_n = n+2$ …… ① と推測される。

この推測が正しいことを、数学的帰納法によって証明する。

[1] $n=1$ のとき

$a_1 = 3$ であるから、① は成り立つ。

[2] $n=k$ のとき、① が成り立つ、すなわち

$$a_k = k+2 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

と仮定する。 $n=k+1$ のときを考えると、② から

$$a_{k+1} = \frac{a_k^2 - 1}{k+1} = \frac{(k+2)^2 - 1}{k+1} = \frac{k^2 + 4k + 3}{k+1} = \frac{(k+1)(k+3)}{k+1}$$

$$= k+3 = (k+1) + 2$$

よって、 $n=k+1$ のときにも① は成り立つ。

[1], [2] から、すべての自然数 n について① は成り立つ。

したがって $a_n = n+2$

7

(1) $a_{n+1} + xb_{n+1} = a_n + 4b_n + x(a_n + b_n)$
 $= (1+x)a_n + (4+x)b_n$

よって、 $a_{n+1} + xb_{n+1} = y(a_n + xb_n)$ とすると

$$(1+x)a_n + (4+x)b_n = ya_n + xyb_n$$

これがすべての n について成り立つための条件は $1+x=y$, $4+x=xy$

これを解くと $(x, y) = (2, 3), (-2, -1)$

(2) (1) から $a_{n+1} + 2b_{n+1} = 3(a_n + 2b_n)$, $a_1 + 2b_1 = 3$;

$$a_{n+1} - 2b_{n+1} = -(a_n - 2b_n), a_1 - 2b_1 = -1$$

よって、数列 $\{a_n + 2b_n\}$ は初項3、公比3の等比数列；

数列 $\{a_n - 2b_n\}$ は初項-1、公比-1の等比数列。

ゆえに $a_n + 2b_n = 3 \cdot 3^{n-1} = 3^n \dots\dots ①$, $a_n - 2b_n = -(-1)^{n-1} = (-1)^n \dots\dots ②$

①+② $\div 2$ から $a_n = \frac{3^n + (-1)^n}{2}$ ①-② $\div 4$ から $b_n = \frac{3^n - (-1)^n}{4}$

8

AP_n = a_n とおくと

$$BQ_n = \frac{1}{2}BP_n = \frac{1}{2}(3 - AP_n) = \frac{1}{2}(3 - a_n)$$

$$CR_n = \frac{1}{2}CQ_n = \frac{1}{2}(3 - BQ_n) = \frac{1}{2}\left\{3 - \frac{1}{2}(3 - a_n)\right\} = \frac{1}{4}(3 + a_n)$$

$$AP_{n+1} = \frac{1}{2}AR_n = \frac{1}{2}(3 - CR_n) = \frac{1}{2}\left\{3 - \frac{1}{4}(3 + a_n)\right\} = \frac{1}{8}(9 - a_n)$$

よって $a_{n+1} = \frac{1}{8}(9 - a_n)$

これを变形すると $a_{n+1} - 1 = -\frac{1}{8}(a_n - 1)$

a₁ = AP₁ = 2 であるから $a_1 - 1 = 2 - 1 = 1$

ゆえに、数列 {a_n - 1} は初項 1, 公比 $-\frac{1}{8}$ の等比数列で

$$a_n - 1 = 1 \left(-\frac{1}{8}\right)^{n-1}$$

したがって $a_n = \left(-\frac{1}{8}\right)^{n-1} + 1$ すなわち $AP_n = \left(-\frac{1}{8}\right)^{n-1} + 1$

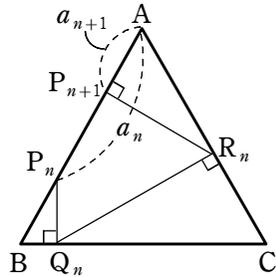
9

(1) ある自然数 n について a_{n+1} = 3 とすると、条件式から

$$a_n - 9 = 3(a_n - 5) \quad \text{ゆえに} \quad a_n = 3$$

よって $a_{n+1} = a_n = a_{n-1} = \dots\dots = a_1 = 3$ これは条件 a₁ = 1 に反する。

ゆえに、a_{n+1} = 3 を満たす自然数 n はない。



また $a_1 \neq 3$

したがって、すべての自然数 n に対して a_n ≠ 3 である。

(2) $a_{n+1} - 3 = \frac{a_n - 9}{a_n - 5} - 3$ から $a_{n+1} - 3 = -\frac{2(a_n - 3)}{a_n - 5}$

(1) より a_n ≠ 3 であるから、両辺の逆数をとると

$$\frac{1}{a_{n+1} - 3} = -\frac{1}{2} \cdot \frac{a_n - 5}{a_n - 3} \quad \text{よって} \quad \frac{1}{a_{n+1} - 3} = -\frac{1}{2} + \frac{1}{a_n - 3}$$

ゆえに $b_{n+1} = b_n - \frac{1}{2}$ また $b_1 = \frac{1}{a_1 - 3} = -\frac{1}{2}$

よって、数列 {b_n} は初項 $-\frac{1}{2}$, 公差 $-\frac{1}{2}$ の等差数列で

$$b_n = -\frac{1}{2} + (n-1) \cdot \left(-\frac{1}{2}\right) = -\frac{n}{2}$$

したがって $a_n = 3 + \frac{1}{b_n} = 3 - \frac{2}{n}$

10

(1) $a_{n+1} = 6a_n - 3^{n+1}$ の両辺を 3ⁿ⁺¹ で割ると $\frac{a_{n+1}}{3^{n+1}} = 2 \cdot \frac{a_n}{3^n} - 1$

$b_n = \frac{a_n}{3^n}$ とおくと $b_{n+1} = 2b_n - 1$

これを变形して $b_{n+1} - 1 = 2(b_n - 1)$

また $b_1 - 1 = \frac{a_1}{3} - 1 = \frac{9}{3} - 1 = 2$

よって、数列 {b_n - 1} は初項 2, 公比 2 の等比数列で

$$b_n - 1 = 2 \cdot 2^{n-1} \quad \text{ゆえに} \quad b_n = 2^n + 1$$

a_n = 3ⁿ · b_n であるから $a_n = 3^n(2^n + 1) = 6^n + 3^n$

(2) $na_{n+1} = (n+1)a_n + 1$ の両辺を n(n+1) で割ると

$$\frac{a_{n+1}}{n+1} = \frac{a_n}{n} + \frac{1}{n(n+1)}$$

$b_n = \frac{a_n}{n}$ とおくと $b_{n+1} = b_n + \frac{1}{n(n+1)}$ また $b_1 = \frac{a_1}{1} = 2$

よって、数列 $\{b_n\}$ は初項が 2、階差数列の第 n 項が $\frac{1}{n(n+1)}$ であるから、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} b_n &= 2 + \sum_{k=1}^{n-1} \frac{1}{k(k+1)} = 2 + \sum_{k=1}^{n-1} \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) \\ &= 2 + \left\{ \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{2} \right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \cdots + \left(\frac{1}{n-1} - \frac{1}{n} \right) \right\} \\ &= 2 + \left(1 - \frac{1}{n} \right) = \frac{3n-1}{n} \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$b_1=2$ であるから、 $\textcircled{1}$ は $n=1$ のときにも成り立つ。

ゆえに $b_n = \frac{3n-1}{n}$

$a_n = nb_n$ であるから $a_n = n \cdot \frac{3n-1}{n} = 3n-1$

(3) $a_{n+1} = 3a_n + 4n \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$ とすると $a_{n+2} = 3a_{n+1} + 4(n+1) \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$

$\textcircled{2} - \textcircled{1}$ から $a_{n+2} - a_{n+1} = 3(a_{n+1} - a_n) + 4$

$b_n = a_{n+1} - a_n$ とおくと $b_{n+1} = 3b_n + 4$

これを变形すると $b_{n+1} + 2 = 3(b_n + 2)$

また、 $\textcircled{1}$ から $a_2 = 3a_1 + 4 \cdot 1 = 3 \cdot 1 + 4 = 7$

$b_1 = a_2 - a_1 = 7 - 1 = 6$

よって $b_1 + 2 = 8$

ゆえに、数列 $\{b_n + 2\}$ は初項 8、公比 3 の等比数列で

$b_n + 2 = 8 \cdot 3^{n-1}$ よって $b_n = 8 \cdot 3^{n-1} - 2$

数列 $\{b_n\}$ は数列 $\{a_n\}$ の階差数列であるから、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (8 \cdot 3^{k-1} - 2) = 1 + \frac{8(3^{n-1} - 1)}{3-1} - 2(n-1) \\ &= 4 \cdot 3^{n-1} - 2n - 1 \quad \cdots \cdots \textcircled{3} \end{aligned}$$

初項は $a_1=1$ であるから、 $\textcircled{3}$ は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって $a_n = 4 \cdot 3^{n-1} - 2n - 1$

別解 $b_n = 8 \cdot 3^{n-1} - 2$ を求めた後は、次のようにして a_n を求めてもよい。

$b_n = 8 \cdot 3^{n-1} - 2$ から $a_{n+1} - a_n = 8 \cdot 3^{n-1} - 2$

これに $a_{n+1} = 3a_n + 4n$ を代入して $(3a_n + 4n) - a_n = 8 \cdot 3^{n-1} - 2$

よって $a_n = 4 \cdot 3^{n-1} - 2n - 1$

11

漸化式から、数列 $\{a_n\}$ の各項は正である。

よって、 $a_{n+1} = 2a_n^2$ の両辺は正であるから、両辺の 2 を底とする対数をとると

$\log_2 a_{n+1} = \log_2 2a_n^2$ ゆえに $\log_2 a_{n+1} = 2\log_2 a_n + 1$

$\log_2 a_n = b_n$ とおくと $b_{n+1} = 2b_n + 1$

これを变形して $b_{n+1} + 1 = 2(b_n + 1)$

また $b_1 + 1 = \log_2 a_1 + 1 = \log_2 1 + 1 = 1$

よって、数列 $\{b_n + 1\}$ は初項 1、公比 2 の等比数列であるから $b_n + 1 = 2^{n-1}$

ゆえに $b_n = 2^{n-1} - 1$ したがって $a_n = 2^{b_n} = 2^{2^{n-1}-1}$

12

$a_1 = S_1$ であるから $a_1 = 1 - 2a_1$ ゆえに $a_1 = \frac{1}{3}$

$a_{n+1} = S_{n+1} - S_n$ であるから $a_{n+1} = (n+1 - 2a_{n+1}) - (n - 2a_n)$

よって $a_{n+1} = \frac{2}{3}a_n + \frac{1}{3}$

これを变形して $a_{n+1} - 1 = \frac{2}{3}(a_n - 1)$ また $a_1 - 1 = \frac{1}{3} - 1 = -\frac{2}{3}$

ゆえに、数列 $\{a_n - 1\}$ は初項 $-\frac{2}{3}$ 、公比 $\frac{2}{3}$ の等比数列で

$a_n - 1 = -\frac{2}{3} \left(\frac{2}{3} \right)^{n-1}$ したがって $a_n = -\left(\frac{2}{3} \right)^n + 1$

13

[1] $n=1$ のとき、 $x^1 + y^1 = x + y$ で整数である。

$n=2$ のとき、 $x^2 + y^2 = (x+y)^2 - 2xy$ で整数である。

[2] $n=k$ 、 $k+1$ のとき、 $x^n + y^n$ が整数である、すなわち、 $x^k + y^k$ 、 $x^{k+1} + y^{k+1}$ はともに整数であると仮定する。

$n=k+2$ のときを考えると

$$x^{k+2} + y^{k+2} = (x^{k+1} + y^{k+1})(x + y) - xy(x^k + y^k)$$

$x + y$, xy は整数であるから、仮定により、 $x^{k+2} + y^{k+2}$ も整数である。

よって、 $n = k + 2$ のときにも $x^n + y^n$ は整数である。

[1], [2] から、すべての自然数 n について、 $x^n + y^n$ は整数である。

14

$n = 1, 2, 3, 4, 5, 6$ のとき、 2^n と $n^2 + 1$

の値を計算すると、右の表のようになる。

よって、 $n \geq 5$ のとき

$$2^n > n^2 + 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

n	1	2	3	4	5	6	...
2^n	2	4	8	16	32	64	...
$n^2 + 1$	2	5	10	17	26	37	...

と推測される。

以下、この推測が正しいことを数学的帰納法によって証明する。

[1] $n = 5$ のとき、 $\textcircled{1}$ は成り立つ。

[2] $k \geq 5$ として、 $n = k$ のとき $\textcircled{1}$ が成り立つ、すなわち

$$2^k > k^2 + 1 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

と仮定する。 $n = k + 1$ のとき、 $\textcircled{1}$ の両辺の差を考えると、 $\textcircled{2}$ から

$$\begin{aligned} 2^{k+1} - \{(k+1)^2 + 1\} &= 2 \cdot 2^k - (k^2 + 2k + 2) \\ &> 2(k^2 + 1) - (k^2 + 2k + 2) \\ &= k^2 - 2k = k(k - 2) \end{aligned}$$

$k \geq 5$ であるから $k(k - 2) > 0$

すなわち $2^{k+1} > (k+1)^2 + 1$

よって、 $n = k + 1$ のときにも $\textcircled{1}$ は成り立つ。

[1], [2] から、5以上のすべての自然数 n について $\textcircled{1}$ は成り立つ。

以上から $n = 1$ のとき $2^n = n^2 + 1$

$n = 2, 3, 4$ のとき $2^n < n^2 + 1$

$n \geq 5$ のとき $2^n > n^2 + 1$